

令和3年度進行管理・評価シート
松本市歴史的風致維持向上計画（第2期）（令和3年5月19日認定）

□進捗評価シート(様式1)

①組織体制(様式1-1)		
1 庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携	1
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)		
1 屋外広告物の規制	2
2 重点区域における景観計画の活用	3
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)		
□ 歴史的建造物等の保存と活用に関する事業		
1 松本城南・西外堀復元事業	4
2 国宝松本城天守等耐震対策事業	5
3 国宝松本城天守防災対策事業	6
4 松本城堀浄化対策事業	7
5 国宝旧開智学校校舎耐震改修事業	8
6 歴史まちづくり事業	9
7 松本城世界遺産登録推進事業	10
□ 歴史的建造物等の周辺環境に関する事業		
8 (都)内環状北線整備事業	11
9 松本城周辺道路整備事業	12
10 松本市基幹博物館整備事業	13
11 市役所庁舎建替事業	14
12 松本城と中心としたまちづくり事業	15
□ 歴史的まちなみ景観に関する事業		
13 歩いてみたい城下町まちづくり事業	16
14 景観計画推進事業	17
15 空き家対策事業	18
□ 伝統行事など伝統文化の継承に関する事業		
16 文化財記録保存事業	19
17 市民学芸員養成講座	20
18 松本城学びと研究事業	21
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)		
1 文化財の保存・活用について	22
2 文化財の修理について	23
3 文化財の保存・活用を行う施設について	24
4 文化財の防災について	25
⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)		
1	26
⑥その他(効果等)(様式1-6)		
1 歴史まちづくりの効果について	27
□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)	28

評価軸①-1
組織体制

項目	評価対象年度	令和3年度
		現在の状況
庁内部局間(市長部局と教育委員会)の連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 歴史的風致の維持向上を図るためには、様々な分野の多岐にわたる施策を実施する必要があり、関係各課との意識共有が不可欠です。そのため、計画の推進に当たっては事務局をお城まちなみ創造本部と文化財課が担当して、各事業担当課と庁内の横断的な連携をとり、法定協議会である松本市歴史的風致維持向上協議会において協議を行って、計画の円滑で効果的な進捗を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

事務局が建設部都市政策課から総合戦略局お城まちなみ創造本部に変更となったが、文化財課と連携して事業を推進している。
 歴史まちづくりに関する庁内会議 計3回実施
 令和4年2月28日 令和3年度第1回松本市歴史的風致維持向上協議会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応

進捗状況	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	庁内関係各課と歴史まちづくりの意識共有を進めていき、横断的な連携による計画の推進を図る。

状況を示す写真や資料等



庁内関係課 打ち合わせ状況



令和3年度第1回歴史的風致維持向上協議会
 日時 令和4年2月28日(月)午前10時から
 場所 松本市役所本庁舎 第1応接室

評価軸②-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
屋外広告物の規制		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 屋外広告物は景観を構成する重要な要素であることから、松本の良好な景観への規制・誘導と風致の維持向上を図るため、これまでの県条例から松本市の特性を踏まえた独自の屋外広告物条例を平成21年(2009)2月に施行しました。
 松本市の魅力である北アルプスや美ヶ原高原などの山岳眺望と松本城を中心とした歴史的景観を保全するため、屋上広告物や野立て看板の規制を強化するなど、独自条例としての有効性と実効性を確保しています。
 今後は、条例の周知に取り組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成を目指すものとします。

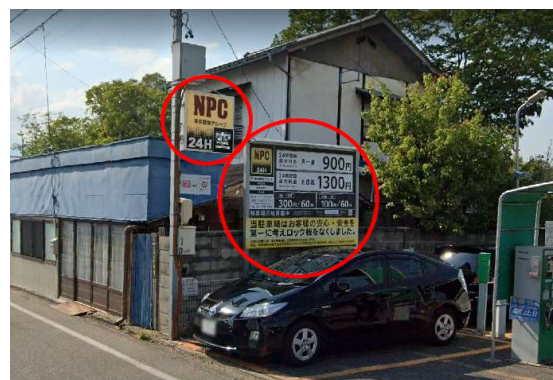
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成21年2月の屋外広告物条例施行に伴う、既存不適格広告物の早期是正を目的に、個別に相談や指導の業務を行っている。
 (個別相談及び指導業務を行っているが、令和3年度重点区域内改修基数0基)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度末をもって改修補助金の制度も終わり、現在は違反処理に移行している。是正指導等のなかで事業者側のジレンマもあるが、粘り強く交渉をして理解を求めていく。

状況を示す写真や資料等

重点区域内改修事例



改修前

改修(色彩基準の適合)

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
重点区域における景観計画との連携		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	<p>重点区域は平成20年(2008)に策定した松本市景観計画において、歴史的景観区域と中心都市景観区域で構成されています。歴史的景観区域は、国宝松本城、旧開智学校校舎を始め、城下町の歴史的まちなみや、町割を色濃く残す景観要素で構成されている区域です。また、中心都市景観区域は商業施設・業務施設・行政施設が集積し、松本市の中心市街地を形成している区域で、近代的都市景観を形成しています。</p> <p>景観計画における景観重点地区としては、松本市の象徴である松本城を中心とする「お城地区」(松本城周辺重点地区)、町人地として、城下町の町割が残り、明治期の蔵など歴史的資産が点在し、中町通りに代表される歴史的街並みの保全と復元が図られている「お城南地区」(中町・高砂通り周辺重点地区)を指定しています。</p> <p>また、平成30年(2018)には歴史的景観区域と中心都市景観区域に中高層建築物を計画する事業者に対し、松本市景観条例に基づく景観事前協議を行うことを義務付け、地域に応じたきめ細やかな景観誘導を図っています。</p>		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
景観計画の行為制限(定性的基準)による景観事前協議制度により、歴史的景観区域、中心都市景観区域で高さ15メートルを超える建物を建等する場合、景観法に基づく届出(又は通知)の120日前(規模により異なる)までに松本市景観条例に基づく景観事前協議の手続きを求め、協議を実施している。(重点区域内の協議完了件数:0件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観誘導手法として機能するよう、景観デザインマニュアルも併せて見直しを進めていく。		
状況を示す写真や資料等			
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> ※事前協議の該当案件が無かったため、未掲載 </div>			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本城南・西外堀復元事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 平成23年度～：市単独事業
 平成25年度～：史跡購入費国庫補助
 平成29年度～：歴史生き生き！史跡等総合活用整備事業

計画に記載している内容
 大正末期に埋め立てられ、跡地が宅地として利用されていることから、天守が眺望できず、城郭としての歴史的景観が損なわれているため、外堀を整備することにより、周辺からの眺望改善を図ることができます。また、二の丸側の土(ど)羽(は)等を本来のあるべき姿に整備することで、史跡の魅力が一層高まります。
 更に、松本城を訪れる観光客にとって重要な位置にある本場所の整備は、周辺の城下町と一体となった回遊性の向上性が図られ、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

史跡指定範囲のうち、権利者の同意が得られた範囲の用地取得を実施した。
 令和3年度末進捗率 用地取得 対象範囲の77.5%(7,012㎡)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	事業用地の取得について、関係権利者との協議を丁寧かつ慎重に進め、事業の進捗を図る。

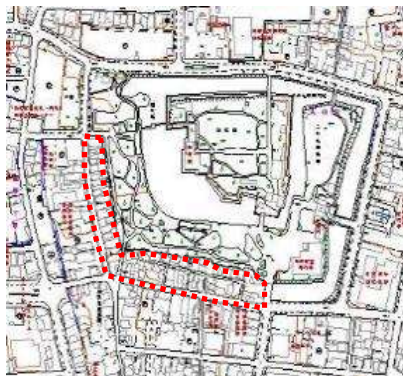
状況を示す写真や資料等



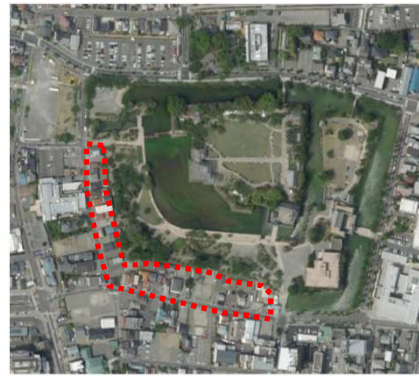
南外堀事業箇所の現況



西外堀事業箇所の現況



事業箇所



事業箇所(上空から)

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
国宝松本城天守等耐震対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成26年度～令和12年度

支援事業名 平成26年度～：市単独事業

計画に記載している内容 耐震診断により、震度6強以上の大地震動下では倒壊の恐れがあると判定された天守等について、文化財的価値を損なわない耐震化を進めます。
その結果、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の耐震対策工事に向け、耐震対策基本計画策定のための耐震補強補強内容の検討を行った。また、令和2年度に実施した、天守石垣等の基礎データ取得のための調査結果の解析・集約を行った。
令和3年9月14日 令和3年度第1回国宝松本城天守耐震対策専門委員会を開催
令和4年3月25日 令和3年度第2回国宝松本城天守耐震対策専門委員会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

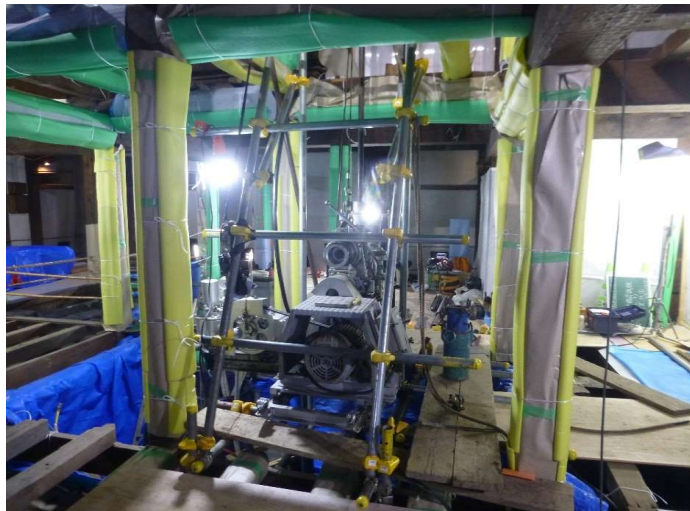
計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

国宝松本城天守の文化財的価値を損なわない耐震補強や、天守石垣の耐震性能を見据えた耐震対策を実施する必要があるため、国・県や有識者と共に慎重な検討を進める。

状況を示す写真や資料等



令和2年度に実施した石垣調査の様子



令和2年度に実施した地盤調査の様子

評価軸③-3 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
国宝松本城天守防災対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和元年度～12年度		
支援事業名	令和2年度～: 国宝重要文化財等防災施設整備事業		
計画に記載している内容	設置から年数が経過し、老朽化が進む防災設備について、火災の早期発見・早期消火につなげるための更新、新設を行うことにより、城下町の核である松本城が健全な状況に保たれて、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
国宝松本城天守の防災設備の見直しや更新、新たな防災設備の設置を行った。 ・自動火災報知設備の改善 ・自動火災消火設備(スプリンクラー)の設置 ・屋内消火栓を易操作性設備へ変更(14基) ・屋外消火栓を易操作性設備へ変更(2基) ⇒3カ年計画のうち第一期工事終了			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	既存防災設備の見直しを計画的に進める。また、設備の設置にあたっては、遺構へ影響を及ぼすことのないよう、史跡の発掘調査等を実施する		
状況を示す写真や資料等			
○今後の整備内容 1 令和4年度 (1) 屋内消火設備用送水設備(ポンプ室、貯水槽、発電機)の新設 (2) 電気設備(キュービクル)の更新 (3) 試掘調査 2 令和5年度 既存送水設備の改善			
○屋外消火栓設備設置状況			
			
更新前		更新後	
○自動火災消火設備(スプリンクラー)設置状況			
			

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	
松本城堀浄化対策事業	<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成30年度～令和12年度

支援事業名 平成30年度～：市単独事業

計画に記載している内容 堆積物により、堀に十分な水がはれない等の状況を改善し、堀の水質浄化を進めることにより、歴史的な景観の向上と快適な公園環境として、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本城の内堀、外堀、総堀に堆積した汚泥等を除去(浚渫)するための工事着手に向け、松本城のお堀に適した浚渫工法の選定を行い、全面的な堀浚渫と浚渫工事後の堀の維持管理に向けた基本計画の策定を行った。また、堀の日常的な清掃や水質浄化のための薬剤散布を実施した。

令和3年 7月 9日 第1回史跡松本城浚渫工法選定委員会を開催

令和3年 8月 25日 第2回史跡松本城浚渫工法選定委員会を開催

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

市民や観光客への影響を考慮しながら、堀の遺構を痛めることのないよう、松本城の堀に適した浚渫工法を用いて計画的に浚渫工事を実施する。

状況を示す写真や資料等

- 堆積土 全体で約28,000m³
- 水深 0.00mから1.01m程度 (平均0.24m)
- 浮泥厚 0.00mから0.82m程度 (平均0.46m)
- 総堆積土厚 0.00mから2.44m程度 (平均0.93m)
- 土質 全体的に砒素及びその他化合物を多く含有
- 堀への流入水量 流入量は2,540L/分 排出量は2,820L/分
- 堀の堆積速度(浚渫厚シミュレーション)
 浚渫を1m実施した場合:約20年後に現在の堆積量に戻る
 浚渫を1.5m実施した場合、約60年後に現在の堆積量に戻る

※ 平成30年度から令和2年度までに実施した堀総合調査による



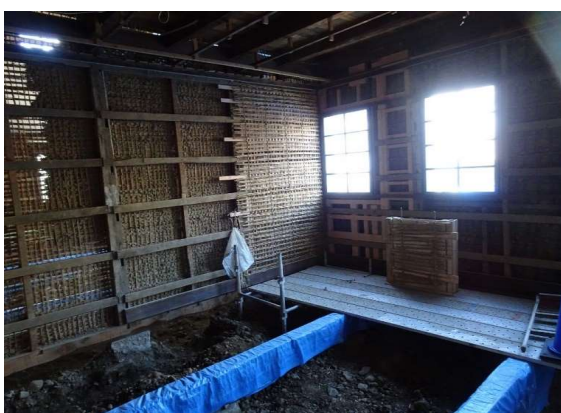
令和2年度に実施した浚渫工法実証実験の様子

評価軸③-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
国宝旧開智学校校舎耐震改修事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和2年度～令和5年度		
支援事業名	令和2年度～: 国宝重要文化財等防災施設整備事業		
計画に記載している内容	歴史的建造物である校舎に耐震対策工事を実施することにより、建造物の保存・活用を図り商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
・令和3年6月から耐震対策工事を実施している(令和6年度までの予定) ・耐震対策工事の実施に伴い、旧開智学校校舎も休館、隣接する長野県宝松本市旧司祭館にて耐震工事や旧開智学校の情報発信を行っている。 ・令和3年12月18日に、第1回耐震対策工事見学会を実施			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

旧開智学校校舎 耐震対策工事の様子



評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度 現在の状況
歴史まちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成27年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 近代のまちの歴史を伝え、まちの魅力向上につながる建造物の保全活用の取組みにより、歴史的なまちなみ形成過程を知り、地域の歴史・文化への関心を高めて商都松本の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度 新規に7件を松本市近代遺産として登録し、所有者へ通知するとともに市ホームページで周知を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



令和3年度 松本市近代遺産新規登録物件(一部)

評価軸③-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本城世界遺産登録推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成13年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 松本城が世界遺産登録を目指す中で、建築学・歴史学・考古学などの調査研究や同種資産との比較研究を行い、その最新の研究成果を広く市民に対し情報発信を行います。
それらの活動を通して、松本市民の共通の宝である松本城の恒久的保存、次世代への継承、文化財保護といった意識が醸成され、水めぐる城下町の歴史的風致の維持及び向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年5月に「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会役員会・総会を開催し、事業報告等を行いました。
令和3年11月に第2回3市市民交流会(犬山市・松江市・松本市)を松江市にて開催し、市民同士の交流を促進しました。
令和3年1月までに近世城郭群世界遺産登録推進会議準備会のワーキンググループを2回開催しました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

松本城の国内暫定一覧表記載に向け、引き続き、顕著な普遍的価値の証明に関する調査研究、市民等への普及啓発活動及び県市の推進体制の整備など実施して参ります。

状況を示す写真や資料等



令和3年度第2回ワーキンググループ(R3.10.19)



「国宝松本城を世界遺産に」推進実行委員会
令和3年度総会(R3.5.20)



令和3年度 第2回3市市民交流会(R3.11.16～17)



評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
(都)内環状北線整備事業		現在の状況 □実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成23年度～令和4年度
支援事業名	平成23～29年度 社会資本総合整備事業(街路事業) 平成30年度～令和元年度 社会資本総合整備事業(都市再生整備計画事業) 令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度)

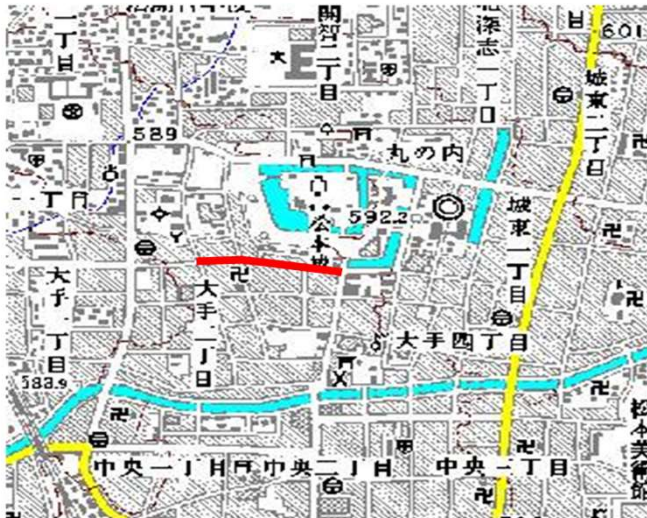
計画に記載している内容
自動車利用から歩行者・自転車及び公共交通を優先した道路への転換や広域避難地である松本城公園への歩行避難空間及び災害対応車両用空間を確保して環状道路の整備を行います。南・西外堀復元と一体のまちづくりによるにぎわい空間となる街路を整備することにより、市民の憩いの場や観光客のたまり場として利用できる街路空間を創出して水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で
事業同意を得た関係権利者に対して、補償算定および用地取得を順次実施し、令和2年度に引き続き、工事を実施した。
令和3年度 補償算定(1件)用地取得(4件)補償(3件)
工事(道路改良L=167m、電線共同溝L=129m)電線共同溝施行委託(1式)
用地取得率 94.16%

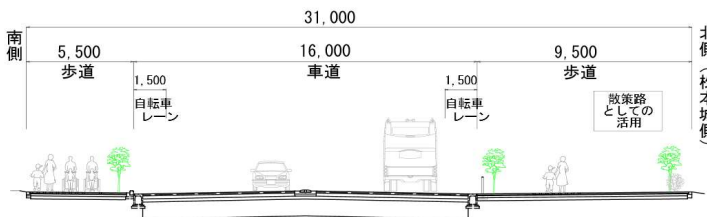
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成24年度に街路事業認可を受け、平成25年度から用地買収に着手し、引き続き地元の理解と協力を得て意見を伺いながら慎重に進めている。また、松本城南・西外堀復元事業と一体的に事業を進めており、関係部署と協議を行いながら事業進捗を図っている。

状況を示す写真や資料等

都市計画道路 内環状北線
道路改築 L = 280m W = 31m
歩道(無電柱化、高質化)



事業実施箇所



整備イメージ

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本城周辺道路整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度) 令和5～7年度:市単独事業		
計画に記載している内容	松本城の西外堀復元とも関連するお城周辺の道路環境を改善して交通の円滑化を図り、歩行者・自転車が安全で安心して通行できる空間を整備します。松本城周辺景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
事業同意を得た関係権利者に対して、用地取得を順次実施し、令和2年度に引き続き工事(市道1056号線)を実施した。 令和3年度 市道1056号線 令和3年度 用地取得(3件)補償(3件) 3年度末用地取得 (8件/11件) 工事(水路工L=72m) 市道1057号線 令和3年度 用地取得(1件)補償(1件) 3年度末用地取得 (2件/5件)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成29年度から用地買収に着手し、引き続き地元の理解と協力を得て意見を伺いながら慎重に進めている。令和4年度、L=140m完成予定。		

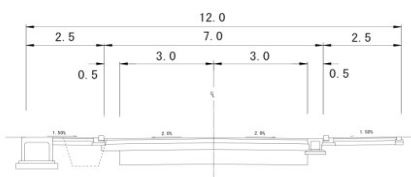
状況を示す写真や資料等



市道1056号線
 道路改良 L = 240m
 W = 12.0 ~ 15.0m

市道1057号線
 道路改良 L = 250m
 W = 5.0m

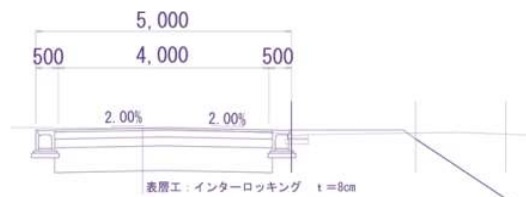
標準横断面図



事業実施箇所



標準横断面図



事業実施箇所



評価軸③-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本市基幹博物館整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和4年度		
支援事業名	平成23～29年度 社会資本総合整備事業(街路事業) 平成30年度～令和元年度 社会資本総合整備事業(都市再生整備計画事業) 令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度)		
計画に記載している内容	松本城二の丸内にある博物館が三の丸地区に移転することにより、これまで損なわれてきた二の丸の歴史的景観が改善されます。 また、展示を通じて松本市の歴史や伝統行事などを学ぶ機会を創出して水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
建築工事においてコロナウイルス感染症対策などの影響により、工事期間を約1か月延長することになったが、事業全体スケジュールに変更はなく令和5年秋に開館予定。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	基幹博物館の管理運営に係る条例改正や指定管理者制度導入等の制度設計を進めるとともに開館に向けた準備を進めている。		

状況を示す写真や資料等



建物施工状況 (屋根敷設)



建物施工状況 (東側吹抜部分鉄骨建方)

評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
市役所庁舎建替事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～12年度
 支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 現市役所庁舎の一部は、高度地区に定める高さ制限の既存不適格建築物となっています。市役所庁舎の建替えにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

・令和3年度 新庁舎建設の基本的な考え方などについて、庁内検討及び協議
 ・令和4年 1月12日 基本的な考え方、具体的な案などについて、市議会議員協議会で協議

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

・新役所庁舎建替事業については、議会協議で継続協議と判断されています。
 ・今後も、議会への協議と市民の皆さまへの説明を行い、建設計画の進捗を図ります。
 ・設計・建築にあたり、高度地区に定める高さ制限を遵守します。

状況を示す写真や資料等



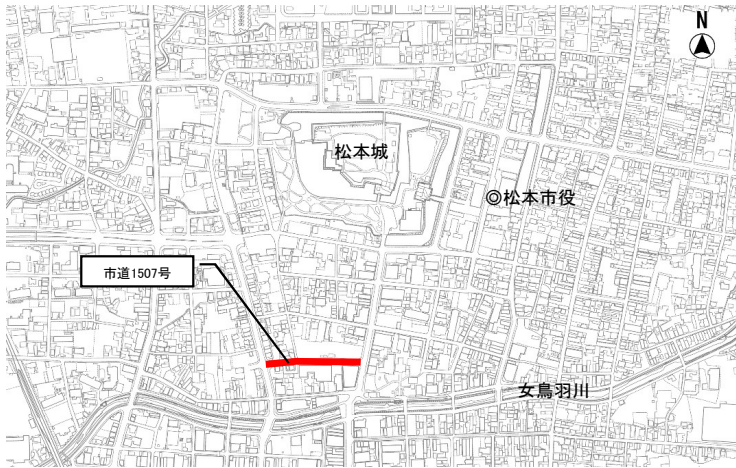
現市役所庁舎
 高さ制限を超過している

評価軸③-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

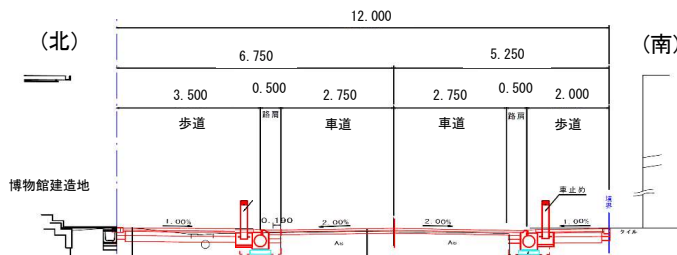
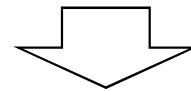
		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本城を中心としたまちづくり事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和12年度		
支援事業名	令和2年度～4年度 都市構造再編集中支援事業(個別支援制度) 令和5年度～ 市単独事業		
計画に記載している内容	松本城の南側に位置する当該地域を総合的に整備して、景観に配慮した良質な歩行者空間を提供し、まちの賑わいを創出します。 松本城周辺の景観形成による歴史的価値の向上により、水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
博物館と一体となったゆとりある歩行環境を創出し、「居心地が良く歩きたくなるまちなか」を整備、 平成30年度 測量及び詳細設計、土質調査を実施 令和3～4年度 道路整備工事(高質化工事)を実施(L=182.9m, W=12.0m) ※令和3年度(準備工)、令和4年度(本工事) 工事進捗状況: 令和3年度(0%)、令和4年度(100%)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	平成26年度に松本城三の丸地区整備基本方針が制定され、平成30年度から測量設計、土質調査等、地元町会・協議会等と整備計画について進めてきた。また、基幹博物館整備事業等と調整を行いながら、事業進捗を図っており、令和4年度完了としている。		

状況を示す写真や資料等

市道1507号線(土手小路)
L=182.9m W=12.0m(高質化)



市道1507号線 整備前



標準断面図



市道1507号線 整備後
(令和3～4年度 工事)

評価軸③-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
歩いてみたい城下町まちづくり事業(まちなみ修景事業)		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

事業期間 平成21年度～令和4年度

支援事業名 令和3年度～4年度 都市構造再編集集中支援事業(個別支援制度)

計画に記載している内容
城下町の町割が残るお城周辺は、特徴のある路地や小路が存在し、城下町の風情やたたずまいを醸し出し、城下町であったことを今に伝え、歴史的風致を形成する重要な要素です。建物の修景補助を行うことにより、まちなみ景観を向上させて水めぐる城下町の歴史的風致の維持向上を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域内のお城周辺地区第2ブロックにおいて、まちづくり協定や街並みガイドラインに基づき、建物のファサード修景に対する補助を行い、良好なまちなみ景観を形成するもの。(修景件数2件)

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
お城周辺地区の回遊性の向上のために、まちづくり協定運営委員会と修景手法やまちづくり協定等との整合について、検討しながら整備を進めていく。

状況を示す写真や資料等



修景前



修景後

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
景観計画推進事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成20年度～令和12年度
支援事業名	令和2年度 景観改善推進事業 令和3年度～ 市単独事業

計画に記載している内容 景観計画の改定を行い、より良好な景観形成への誘導を図ることにより、歴史的まちなみ景観が向上して市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成20年度に策定した松本市景観計画を改定して、景観事前協議制度における協議の円滑化を図ります。また、各地域の特性や守るべき景観の特徴など、景観形成上配慮すべき点を明確にして、良好な景観への誘導を図るもの。(重点区域内の協議完了件数:0件)

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	良好な景観誘導手法として機能するよう、景観デザインマニュアルも併せて見直しを進めていく。
------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------

状況を示す写真や資料等

※事前協議の該当案件が無かったため、未掲載

評価軸③-15 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
空き家対策事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和12年度		
支援事業名	令和2年度～7年度 空き家対策総合支援事業 令和8年度～ 市単独事業		
計画に記載している内容	空家の利活用の促進により、歴史的建造物の滅失を防いで歴史的まちなみ景観を保全することにより、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
空き家バンクに物件を掲載する事により利活用の促進している。(R4.1月末現在 掲載物件20件) 空き家バンクのホームページ閲覧数 (R3. 3月末現在 閲覧数13,906) 老朽化した空き家が危険な状態である場合に解体費の補助を行っている。(R4.1月末現在 補助件数13件) 松本市内の空家等対策計画における想定空家の数 (H31. 3月現在 空家数2,839戸)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	空き家バンクへの掲載物件が少ない。 老朽化する前の空き家や管理不全になりそうな物件所有者に通知するなどして空き家バンクへの掲載を促していく。		
状況を示す写真や資料等			
			
松本市空き家バンクサイトのイメージ			
			
市内の老朽化した危険な空き家のイメージ			

評価軸③-16

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財記録保存事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成20年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 今後失われたり、変容するおそれのある文化財を記録の上で保存し、その成果を公開することにより、次世代への伝承と市民への情報発信ができ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

コロナ禍により、神社の祭礼等が中止または縮小しているなか、調査を実施した。地区公民館が所蔵する各地区の民俗行事等の映像記録(ビデオテープ等)の収集及びデジタル化を、引き続き実施した。市内の民俗行事等に関するデータベースの追加、時点修正を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

コロナが落ち着き、祭礼が再開され次第、引き続き調査を進めていく

状況を示す写真や資料等



今井地区(下今井諏訪神社) 五つ灯籠



稲核菜のお菜洗い

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
市民学芸員養成講座		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 令和3年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容 「松本まるごと博物館構想」の実現に向け、博物館を拠点に地域を学び情報発信し、活動の中心となる人材として市民学芸員を養成することで、松本市の歴史・文化を継承し、市域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・第10期市民学芸員養成講座を6月～2月まで全10回で開講し、養成を行っています(13人受講)。
- ・これまでの受講者を対象に、11月27日にステップアップ講座を開催しました(16人参加)。
- ・受講修了生がグループで、七夕、あめ市、ひな祭りの講座を行うなど、個別の活動が活性化しています。
- ・新型コロナウイルスの拡大により、博物館祭りやまる博deウォークの活動が中止になりました。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

- ・講座の開催にあたり、公民館との連携を拡大していきます。
- ・積極的に補助金等財源を確保し活動の拡大に努めます。

状況を示す写真や資料等



養成講座②フィールドワーク



養成講座⑨企画展展示作業



七夕人形づくり講座



ステップアップ講座

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
松本城学びと研究事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間 平成23年度～令和12年度

支援事業名 市単独事業

計画に記載している内容
 松本城や城下町を「体験」「学習」の場として捉え、『松本城でなければ学べない、松本城だから学べる』をコンセプトとした学習会等を開催して、子供や市民の学習意欲に応えます。
 また、これらの活動を通じて松本城や城下町の歴史、伝統行事、文化財保護の考え方を学ぶことにより、意識の高揚が図られ、市内全域の歴史的風致の維持向上に寄与します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本市が保管する火縄銃について学習する松本城講座(令和3年12月4日)や、松本城二の丸、三の丸の歴史遺構を見学する夏休み子ども勉強会(令和3年7月31日)等を開催した。
 また、天守床磨きなどのボランティア活動の中で、天守建造物や史跡などの重要性を学ぶ機会提供を計画したが、新型コロナウイルス感染症対策のため、開催を中止した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない

松本城を後世に残し伝えるために、松本城や城下町を「体験」「学習」の場として、歴史や伝統行事、文化財保護の考え方を学べるような機会を創出する。

状況を示す写真や資料等



松本城講座の様子



夏休み子ども勉強会の様子

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
文化財の保存・活用について		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 松本市は、市域全体の文化財を指定・未指定を問わず総合的に把握し、保存活用を図る文化財保護のマスタープランとして平成29年(2017)度に「松本市歴史文化基本構想」を策定しました。さらにこの基本構想を基に、平成30年(2018)度に「松本市文化財保存活用地域計画」を策定し、令和元年(2019)度に国の認定を受けました。松本市歴史文化基本構想及び松本市文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の適切な保存・活用を図ります。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

松本市文化財保存活用地域計画に基づく文化財活用事業、まつもと文化遺産の保存活用団体に補助金を5件交付した。
 史跡小笠原氏城跡保存活用計画および牛伏川本流水路(牛伏川階段工)保存活用計画を作成した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等

重要文化財 牛伏川本流水路
 (牛伏川階段工) 保存活用計画



令和4年1月7日
 長野県

重要文化財
 牛伏川本流水路(牛伏川階段工)保存活用計画

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の修理について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財の区分に応じ、文化財保護法や関係条例の規定を遵守し、また、必要に応じて文化庁、長野県、松本市文化財審議委員、学識経験者等の指導・助言を仰ぎながら、適切に文化財の保存・管理を実施します。個人所有の指定等文化財に対する修理については、計画的に補助金の交付を行い、所有者の負担軽減を図るとともに、適切な修理内容となるよう支援します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

県宝筑摩神社拝殿や、長野県天然記念物梓川のモミをはじめ、個人や民間が行う文化財保護事業4件に対して補助金を交付した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等



長野県宝 筑摩神社拝殿



長野県天然記念物 梓川のモミ

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

	評価対象年度	令和3年度
項目	現在の状況	

文化財の保存・活用を行う施設について

- 実施済
- 実施中
- 未着手

計画に記載している内容

松本市は、平成12年(2000)に「松本まるごと博物館構想」を策定し、松本市立博物館を中核施設として松本市全体を屋根のない博物館と考えて事業を展開しています。本館のほかに文化財建造物の活用を含め15の分館を設置し、博物館活動を通して文化財の保存活用を進めています。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

- ・第3回博物館まつりの実行委員会を歴史の里で開催した。
- ・第10期市民学芸員養成講座をあがたの森文化会館(重要文化財旧松本高等学校本館)で行った。
- ・市民学芸員の会総会をあがたの森文化会館(重要文化財旧松本高等学校本館)で行った。
- ・七夕人形づくり講座をはかり資料館で行った。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画どおり進捗している
- 計画どおり進捗していない

・松本市立博物館は三の丸へ移転新築するため休館しており、学習の場が限定されるなか、分館を活用して事業を継続している。
 ・分館ごとに施設の性格が異なるため、文化財建造物の保存活用と博物館活動の効果的な実施に支障が生じている。

状況を示す写真や資料等



歴史の里で行われた博物館まつり実行委員会



あがたの森文化会館で行っている市民学芸員養成講座(第10期)



あがたの森文化会館で行った市民学芸員の会総会



はかり資料館で行った七夕人形づくり講座

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

項目	評価対象年度	令和3年度
文化財の防災について		現在の状況 <input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手

計画に記載している内容
 文化財のハード・ソフト両面での防災のための整備等を進めるとともに、日常的な管理における防災を徹底します。また、個人等が所有する文化財については、防災・防犯に関する情報を周知し、日常的な維持管理を始めとした対策について協力を仰ぎます。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

国宝松本城天守の耐震対策工事に向け、耐震対策基本計画の検討と、自動火災報知機・消火設備の更新を実施した。重要文化財旧松本高等学校校舎(本館)の耐震工事を実施した。
 国宝松本城天守、国宝旧開智学校校舎等で、1月26日の文化財防火デー等に消防訓練を行った。
 市が管理する文化財建造物は、防災・防犯のため、夜間巡回警備、来場者への啓発・注意喚起の掲示等を実施。民間所有の指定・登録文化財は、長野県教委、市教委が実施している文化財パトロールの際、防災、防犯の状況を確認した。

進捗状況 ※計画年次との対応
 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

計画どおり進捗している
計画どおり進捗していない
 ソフト・ハード両面の防火、防災体制の強化が必要となっており、引き続き耐震対策、防火対策を推進する。

状況を示す写真や資料等

文化財防火デー消防訓練



国宝松本城天守 (1月26日)



重要文化財旧松本高等学校校舎耐震対策工事(本館)

評価軸⑤-1
効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
地元公民館・団体がマップ ぐるっと新村の文化財	R3.11.13	市民タイムス
松本 親子連れら建設現場を見学 新博物館に興味津々	R3.11.14	中日新聞
世界遺産候補へ松本城正念場	R3.12.11	信濃毎日新聞
天守 スプリンクラー新設 松本城 初期消火へ設備強化	R3.12.15	市民タイムス

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

市内の文化財とその活用(観光、地域づくり等)に関する関心が高まっている。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等

市民タイムス (令和3年11月13日)

中日新聞 (令和3年11月14日)

信濃毎日新聞 (令和3年12月11日)

市民タイムス (令和3年12月15日)

評価軸⑥-1
その他(効果等)

評価対象年度 令和3年度

項目

歴史まちづくりの効果について

計画に記載している内容 本計画における歴史的風致維持向上施設の整備及び管理等は、歴史的風致を構成する建造物の保存・活用、歴史的風致の維持向上に資する環境の維持・形成、歴史的風致への理解を促すための事業等により実施します。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付

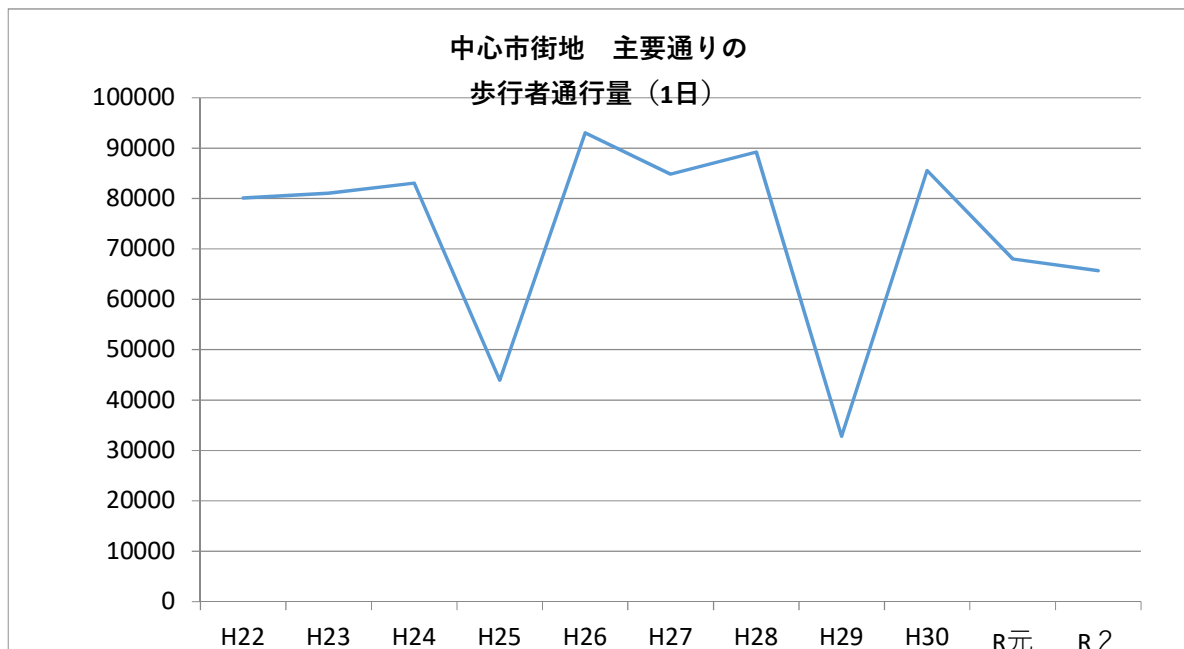
歴史的風致維持向上施設の整備の進捗により、中心市街地の主要な通りの歩行者通行量は微増傾向にある。但し、当該指標は調査日の天候に左右され、H25、29は雨天、R元は曇天で気温が上がらなかったため、R2は新型コロナウイルス流行による影響を受け通行量が減少している。R3から、調査は隔年実施に変更となった。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

- 計画の進捗に影響あり
- 計画の進捗に影響なし

状況を示す写真や資料等



年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
中心市街地 主要通りの歩行者通行量(1日)	80,114	81,076	83,098	43,948	93,043	84,862	89,235	32,810	85,571	68,016	65,711
前年対比		1.2%増	2.4%増	47%減	111%増	8%減	5.1%増	63%減	261%増	21%減	4%減

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和3年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称： 松本市歴史的風致維持向上協議会	
会議等の開催日時： 令和4年2月28日 10時00分から11時30分まで	
<p>(コメントの概要)</p> <p>(1) 庁内間の連携について、第2期計画では計画書記載事業が増えていることから、文化財課とお城まちなみ創造本部だけでなく、庁内で広く連携をとったほうが良いのではないか。</p> <p>(2) 各評価シートについて、定量的な記載はもう少し具体的に記載したほうが良いのではないか。わかりやすい記述をしてほしい。</p> <p>(3) 重点区域内の近代遺産を活用したイベントが好評で街中の歩行者が非常に増えた。このような風致を活かした活動も事業として補助を出せないか。</p> <p>(4) ハード面の事業計画ばかりなので、食文化等のことも取り上げて欲しい。</p>	
<p>(今後の対応方針)</p> <p>(1) 評価シートの作成などは関係課が行っている。今後は、より関係課と連携を図る場を設けるなど検討したい。</p> <p>(2) 定量的な記載については、可能な範囲で具体的な記述を追記することとしたい。</p> <p>(3) 補助金の対応とすることは簡単ではないが、小さなイベントが大きなイベントに成長し、補助対象となった例があるので、状況をみながら対応していきたい。</p> <p>(4) 意見として伺うこととしたい。</p>	